

新市庁舎整備に関する検討について

1 新市庁舎整備の検討経過

- ・昭和34年9月 現庁舎しゅん工
- ・平成元年5月 市庁舎整備基金設置
- ・平成7年7月 「市庁舎整備審議会」答申
- ・平成14年7月 現庁舎市会棟耐震補強工事完了
- ・平成19年12月 「新市庁舎整備構想素案」を公表
- ・平成20年3月 北仲通南地区の土地1.35haを取得(167.8億円)
- ・平成21年4月 「新市庁舎整備を核とした事業手法検討委員会」から提言書を受理
現庁舎行政棟の耐震補強工事完了
- ・平成22年3月 「関内・関外地区活性化推進計画」を策定(第5章 市庁舎整備の考え方)
- ・平成22年12月 「中期4か年計画」(基本施策28 ヨコハマの活力源となる都心部構築)
において平成25年度までに新市庁舎整備基本計画の策定を目標
現在、基本構想策定に向けて内部で検討中

2 現庁舎の現状と課題

- ① 築50年を経過したことによる施設や設備の老朽化
- ② 執務室の不足と機能の分散化による市民サービスの低下と業務効率の低下
- ③ 民間ビル賃借料(約19.5億/年)の発生
- ④ 震災時の安全性と業務継続性の確保

3 新市庁舎整備の検討項目

- ① 基本理念
- ② 機能(耐震、液状化、津波等の震災対策含む)
- ③ 規模
- ④ 整備場所
- ⑤ 事業期間
- ⑥ 事業手法と事業費(財政負担)
- ⑦ フロア計画

4 整備場所

(1) 整備候補地

地区	北仲通南地区	港町地区
位置	中区本町6丁目 	中区港町1丁目周辺 
現況	更地	市庁舎、民間ビル
周辺環境	馬車道駅(みなとみらい線)から徒歩1分 桜木町駅(JR、地下鉄)から徒歩5分	関内駅(JR、地下鉄)から徒歩1分

(2) 整備案

- ① 北仲通南地区を主とした現庁舎との分庁案
- ② 港町地区再整備案
- ③ 北仲通南地区集約案

5 今後の検討内容とスケジュール

(1) 基本構想

新市庁舎整備の課題を踏まえ、基本理念、機能、規模、整備場所について検討し、平成24年度内の策定を目標とします。

(2) 基本計画

基本構想を基に、事業期間、事業手法、事業費(財政負担)、施設のフロア計画などを検討し、平成25年度内の策定を目標とします。

(3) 事業着手

平成25年度までに基本計画を策定した上で、経済・財政状況を考慮して事業着手の時期を判断します。